

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	富山県 高岡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	高岡市歴史文化のまちづくり推進計画		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>文化財を市の発展に有効な資産として活かし、市民生活や産業発展との相乗効果を図りながら歴史文化のまちづくりを推進することを基本理念としながら、平成32年度までにわたり高岡の歴史的風致の維持及び向上に関する方針として</p> <p>①歴史的風致に息づく歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事の継承と育成  ②歴史的風致の核となる歴史的建造物の積極的な保存と活用  ③歴史的風致を形成する歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和を掲げ、「歴史都市」の確立を図る。</p>			
6 実施体制			
<p>高岡市が全体計画の企画・調整及び事業の指導等を行う。  教育委員会文化財課：計画の取りまとめ、事業の調整・指導、文化財の取り扱いに関する指導  事業は以下の団体が実施する。  ・地域の文化遺産継承事業実行委員会（委員長：丸谷芳正）  「地域の文化遺産継承事業」</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 6,133 千円	平成29年度申請額： 2,902 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業の実施により、文化遺産の継承や担い手の育成が進むだけでなく、これらの相乗効果により歴史文化のまちづくりの推進が期待される。また、幅広く市民の参加を得ることで、市民の文化財や伝統文化に対する興味・愛護意識の向上が期待される。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	—		
事業概要：	—		
事業概要：	—		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>歴史文化基本構想…策定済  歴史的風致維持向上計画…策定済</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	教育委員会 生涯学習・文化財課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	高岡市観光ポータルサイトアクセス数			関連事業:	事業④	
目標値1:	平成 26 年度 529,007 件 ⇒ 平成 32 年度 567,163 件					
設定根拠1:	高岡市は、文化施設や伝統行事に関してもインターネットで情報収集・提供出来る機能がある。当該計画及び事業が市民の文化財や伝統文化に対する興味・愛護意識といった観点で向上が図られた場合、また、市外の方が高岡に興味を持った場合のそれぞれにおける影響を評価・分析できるため目標区分とする。					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
707,192 件	986,395 件	件	件	件	件	
467%	1199%					
目標区分2:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分2:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	高岡市宿泊者数			関連事業:	事業①	
目標値2:	平成 26 年度 209,435 人 ⇒ 平成 32 年度 224,540 人					
設定根拠2:	当該計画に関する事業を実施する上で、参加者が本市に宿泊する場合や文化遺産の継承及びに担い手の育成の際に本市に宿泊する場合は十分有り得ることから、高岡市の宿泊者数の数値を当該計画の目標区分とする。					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
256,806 人	215,167 人	人	人	人	人	
314%	38%					
目標区分3:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	高岡市鋳物資料館利用者数			関連事業:	事業④	
目標値3:	平成 26 年度 6,004 人 ⇒ 平成 32 年度 6,434 人					
設定根拠3:	高岡市の公共施設の入込数で本事業と関連が深いことから目標区分とする。 高岡市観光推進ビジョンでは3%/年の増加を図っており、本事業の押し上げ効果を1%と設定する。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
8,210 人	7,759 人	人	人	人	人	
513%	408%					
目標区分4:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分4:	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4:	地域における講演会依頼の数 (出前講座依頼数)			関連事業:	事業②	
目標値4:	平成 26 年度 1 件 ⇒ 平成 32 年度 5 件					
設定根拠4:	高岡市の取組みを地域住民に周知する手法に出前講座を実施しており、教育委員会文化財課 (平成29年度～生涯学習・文化財課 文化財保護係) における出前講座依頼数を把握することにより、住民の歴史・文化に対する関心を知ることが出来るため目標区分とする。					
進捗状況4:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
7 件	6 件	件	件	件	件	
150%	125%					

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	ヘリテージマネージャー育成事業	実施団体:	地域の文化遺産継承事業実行委員会 第1部会			
事業区分:	人材育成	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要:	ヘリテージマネージャーとなった人達が、よりその能力を向上させることができるように、主に演習を中心とした研修会を開催する。					
評価指標区分:	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数					
目標値:	平成 29 年度 6 棟 ⇒ 平成 32 年度 11 棟					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
棟	棟	棟	棟	棟	- 棟	
事業②:	戸出の町並み再発見事業	実施団体:	地域の文化遺産継承事業実行委員会 第2部会			
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 27 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要:	平成27年度、28年度に実施した聞き取り調査等によって明らかとなった、加賀藩主が行っていたとされる領内視察を再現するとともに戸出の歴史を探訪するラリーを実施する。					
評価指標区分:	・フェスティバル出演団体の保存会会員数	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	「戸出歴史探究クラブ」を新規に立ち上げ、戸出の歴史に親しんでいただける者の増加を図る。					
目標値:	平成 29 年度 0 名 ⇒ 平成 32 年度 15 名					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
- 名	名	名	名	名	- 名	
事業③:	長谷川等伯関係仏画レプリカ公開事業	実施団体:	地域の文化遺産継承事業実行委員会 第4部会			
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要:	大法寺、妙伝寺所蔵仏画、長谷川等伯筆作品、長谷川宗清筆作品のレプリカの制作及びレプリカでの常設公開展示場を開設し、長谷川等伯作品等のカルチャー講座の充実を進める。旅行者等と連携したツアー造成を行うもの。					
評価指標区分:	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	協賛企業1社・賛同旅行社3社を協賛企業2社・賛同旅行社5社に拡大。現旅行社のツアー回数を2回実施、新聞社の提携強化					
目標値:	平成 29 年度 4 社 ⇒ 平成 32 年度 7 社					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
- 社	4 社	7 社	- 社	- 社	- 社	
事業④:	金屋の鋳物師継承事業	実施団体:	地域の文化遺産継承事業実行委員会 第3部会			
事業区分:	調査研究	事業期間:	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度			
事業概要:	金屋町に残されている高岡鋳物の製作用具や製品に関連する資料の記録撮影等行う。記録撮影を行った資料の保管・整理等行う。平成28年・平成29年に実施した調査研究内容をとりまとめ、企画展示する。					
評価指標区分:	(リストから選択してください。)	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標:	・金屋町において毎年開催している「金屋学講座」に活用する。 ・高岡市鋳物資料館などの展示施設において企画展を開催する。					
目標値:	平成 28 年度 - ⇒ 平成 32 年度 -					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
-	-	-	-	-	-	